

平成 24 年度第二回役員会 議事録

日 時： 平成 24 年 3 月 16 日（土） 11:30 ~ 13:00

場 所： がん研有明病院 吉田講堂

出席者：石井、小松、古田、仁平、笛井、岡、片山、松原、荒井、和泉、渋木、田口、長尾、濱川
藤田、町田、矢野、藪下、三宅、浅見、金室、郡、中島、吉田、津田、上野、畠山（27 名）

委任状：塩森、張堂、葉山、青木、瀬田、梅澤、藤山、石山（8 名）

欠席者：阿部、若槻（2 名）

議事録：仁平

議 題

報告事項

1. 会長報告

1) 細胞検査士委員会報告

①細胞検査士資格に関して（平成 24 年度合格者数）

一次試験：322/609 名（合格率 52.9%） 二次試験：296/432 名（合格率 68.5%）

②平成 25 年度予定

一次試験：平成 25 年 10 月 13 日（日） 二次試験：平成 25 年 12 月 7・8 日（土・日）

③平成 25 年度資格更新者 グレーカード 予定者：2,177 名

2) 日本臨床学会報告 今後の学会開催予定

①平成 25 年度 春 東京 根本則道 先生 秋 大阪 若狭研一 先生

②平成 26 年度 春 横浜 （故）中山裕樹 先生 秋 山口 亀井敏昭 先生

③平成 27 年度 春 鳥取 紀川純三 先生

学会賞受賞者

学会賞 土屋真一先生

技師賞 学術部門 該当者なし 功労部門 宮木康夫技師 矢羽田一信技師

3) 推進協会庶務委員会報告

細胞検査士数：6852 名、細胞診専門医 2550 名（平成 24 年 11 月 9 日現在）

4) 細胞検査士会役員会報告

①小松学術委員長より

若手検査士による「ヤングコミュニティのワークショップ」は大変活況があり次回の学会でも企画は継続します。また「わからん会」の企画も継続が決まっております。

②平成 25 年度より、日本臨床細胞学会の法人格が変更するのに伴い、今後細胞検査士の資格更新に必要な単位が、現行の 180 点から 280 点へ変更となります。

東京都支部会に加入することにより、4 年間で 100 点が付与されます。

5) 平成 25 年度の予定

①5 月 31 日～6 月 2 日 第 54 回日本臨床細胞学会総会（春期大会） 会長：根本則道先生

②6 月 16 日 IAC 試験

③6 月 22 日 第 41 回東京都細胞検査士会学術研修会 実施委員長：三宅真司技師

④7 月 8～20 日 細胞検査士講習会 東海大学 実施委員長：伊藤 仁技師

⑤7 月 13 日 東京都支部学術集会 会長：畠山重春技師

⑥8 月 3～4 日 細胞検査士ワークショップ 東京 実施委員長：石井保吉技師

⑦8 月 24～25 日 細胞検査士セミナー 東京 実施委員長：小松京子技師

⑧8 月 31～9 月 1 日 細胞検査士セミナー 岡山 実施委員長：畠 榮技師

⑨9 月 7 日 関東連合会学術集会 千葉 会長：柴 光年先生

⑩11 月 1・2 日 日本臨床細胞学会秋期大会 大阪 会長：若狭研一先生

⑪11 月 9・10 日 日本婦人科がん検診学会 熊本

⑫平成 26 年 2 月 22～23 日 細胞検査士ワークショップ 新潟 実施委員長：伊藤 仁技師

2. 研修会役割割分について

第 40 回東京都細胞検査士会学術研修会の役割分担が発表された

審議事項

1. 平成 25 年度東京都細胞検査士会 事業計画

1) 庶務委員会

日本臨床細胞学会公益法人化に伴う診断学推進協会・支部・細胞検査士会などの改編状況を調査し
東京都細胞検査士会会則および選挙要綱等の改定を検討する。

2) 広報委員会

- ①ホームページ (HP) 管理の充実 : 25 年度中には改編する
- ②子宮の日の活動 : 大丸松坂屋店 (上野) の協力が得られた (4 月 6 日または 7 日) 中野駅は調整中
- ③がん患者大集会への協力
- ④研修会のアンケート調査 : 第 41 回東京都細胞検査士会学術研修会時に行う

3) 学術委員会

- ①41 回東京都細胞検査士会学術研修会 : 平成 25 年 6 月 22 日 (土) 東京医科大学 第一講堂
特別講演 : 口腔がんの細胞診断 - 表層細胞の見方 -
講演 : 中皮腫細胞診の現状とこれから
症例検討 : 口腔・婦人科・呼吸器・その他
- ②42 回東京都細胞検査士会学術研修会 : 詳細未定
- ③細胞検査士会学術委員会主催チャリティー講習会への協力

4) 國際委員会

- ①第 6 回日本-台湾細胞診セミナーへの協力 (韓国からも参加予定)
- ②細胞学会国際事業への参画
- ③細胞検査士関係の国際交流に関する情報発信

2. 平成 25 年度東京都細胞検査士会予算案について (津田会計代表幹事)

臨床細胞学会の法人化移行に伴い個々の項目を学会と同様に勘定項目に合わせた
各委員会の金銭出納簿書式も変更する (各委員会代表幹事宛てに書式が提示される)

3. その他

根本則道先生が会長をなさる第 54 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会 5 月 31 日～6 月 2 日) への協
力

要請された (小松副会長)